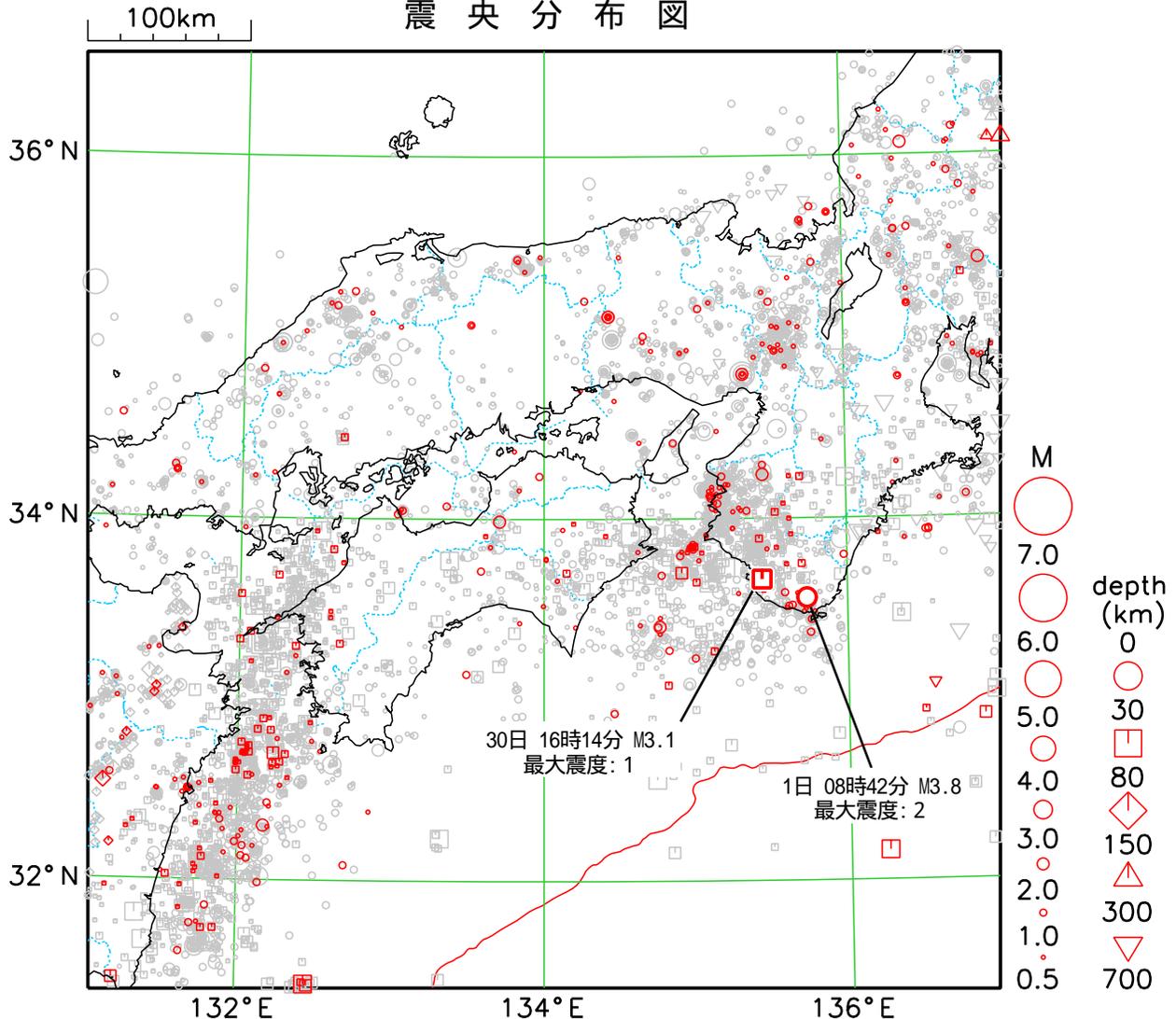


大阪管区气象台

週間地震概況

2022年9月30日～10月6日(地震回数379)

震央分布図



- 管内で震度1以上を観測した地震には、その地震に吹き出しを付加し、最大震度を記載する
- 赤色は2022年9月30日～10月6日の震央を、灰色は対象期間から3ヶ月前までの震央を示す
- Mはマグニチュードを表す

概況

この期間、管内で震度1以上を観測した地震は3回(うち上図の範囲外の地震は1回)でした。
このうち管内で震度3以上を観測した地震は1回(上図の範囲外の地震)でした。

【大隅半島東方沖の地震】

2日00時02分、大隅半島東方沖の地震(深さ29km、M5.9)により、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度4～1を観測しました。大阪管内では愛媛県で震度3を観測しました(別紙参照)。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

この資料は速報であり、後日の調査で変更することがあります。

9月30日から10月6日までの大阪管内で震度1以上を観測した地震

地震発生時刻 各地の震度（大阪管内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2022年09月30日16時14分 和歌山県 震度 1 : 湯浅町青木*	和歌山県南部	33°39.8 N	135°26.2 E	41km	M3.1	1
2022年10月01日08時42分 和歌山県 震度 1 : 御坊市菌, 御坊市湯川*, 日高川町土生*, 田辺市中辺路町近露, 田辺市中辺路町栗栖川*, 田辺市龍神村西*, 新宮市新宮, 新宮市磐盾*, 串本町串本*, 那智勝浦町天満*, 古座川町高池	和歌山県南部	33°33.6 N	135°43.9 E	28km	M3.8	2
2022年10月02日00時02分 愛媛県 震度 3 : 八幡浜市保内町* 震度 2 : 今治市大三島町*, 伊予市下吾川*, 愛媛松前町筒井*, 宇和島市住吉町, 宇和島市吉田町* 大洲市大洲*, 伊方町湊浦*, 西予市宇和町* 震度 1 : 今治市南宝来町二丁目, 松山市北持田町, 松山市富久町*, 松山市北条辻*, 宇和島市津島町* 八幡浜市広瀬 鳥取県 震度 2 : 境港市東本町, 境港市上道町* 震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 琴浦町徳万*, 米子市淀江町* 島根県 震度 2 : 浜田市殿町*, 益田市常盤町*, 大田市仁摩町仁万* 震度 1 : 出雲市今市町, 出雲市塩冶有原町*, 出雲市湖陵町二部*, 出雲市大社町杵築南* 岡山県 震度 2 : 真庭市蒜山下福田* 震度 1 : 真庭市蒜山上福田*, 倉敷市水島北幸町*, 岡山南区浦安南町* 広島県 震度 2 : 広島南区宇品海岸*, 呉市宝町, 呉市広*, 府中町大通り*, 江田島市能美町*, 竹原市中央* 震度 1 : 三原市円一町, 尾道市向島町*, 尾道市瀬戸田町*, 広島中区上八丁堀, 広島中区羽衣町* 広島安佐南区祇園*, 呉市川尻町*, 呉市音戸町*, 呉市安浦町*, 呉市豊町*, 大竹市小方* 東広島市黒瀬町, 廿日市市大野*, 海田町上市*, 江田島市大柿町*, 大崎上島町東野* 兵庫県 震度 1 : 豊岡市桜町 徳島県 震度 1 : 徳島市大和町, 吉野川市鴨島町 香川県 震度 1 : 土庄町淵崎, 観音寺市坂本町, 観音寺市瀬戸町*, 多度津町家中 高知県 震度 1 : 安芸市西浜, 高知市本町, 高知市丸ノ内*, 宿毛市桜町*, 黒潮町佐賀*	大隅半島東方沖	31°18.7 N	131°31.3 E	29km	M5.9	5弱

(注)

*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

10月2日の大隅半島東方沖の地震について

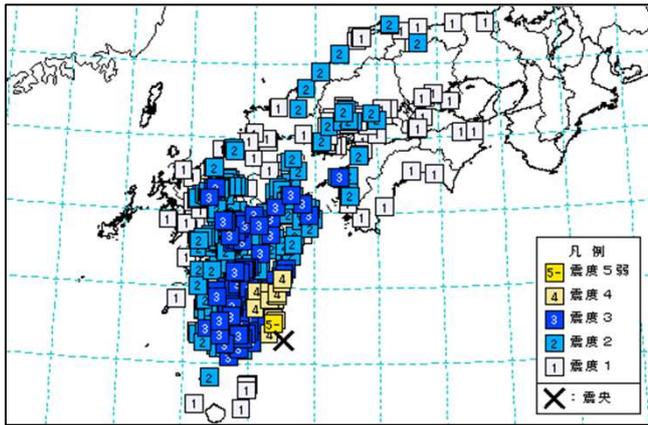


図1 観測点震度分布図

2日00時02分、大隅半島東方沖の地震(深さ29km、M5.9)により、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度4～1を観測しました。大阪管内では愛媛県で震度3を観測しました(図1)。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したと考えられます。この地震の発生後、震源周辺で震度1以上を観測する地震は発生していません(7日08時現在)。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(図3の領域b内)では、M5以上の地震が時々発生していますが、これらのうち、今回の地震は最大規模の地震となっています(図4)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(図5の領域c内)では、M6程度の地震が時々発生しています。

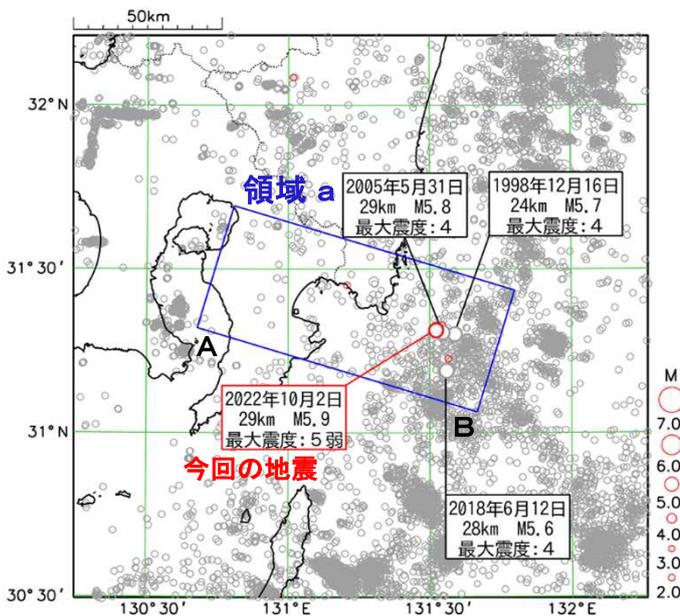


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2022年10月6日、深さ0～100km、M≥2.0)

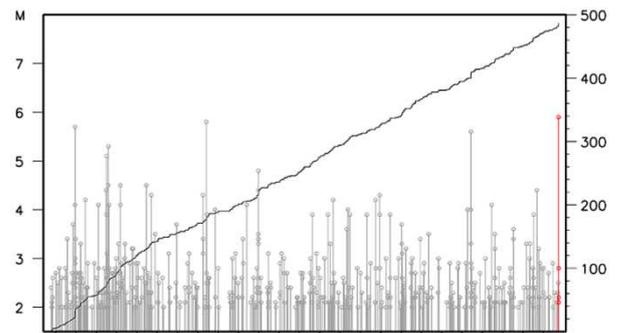


図4 図3の領域b内の規模別地震活動経過及び回数積算図

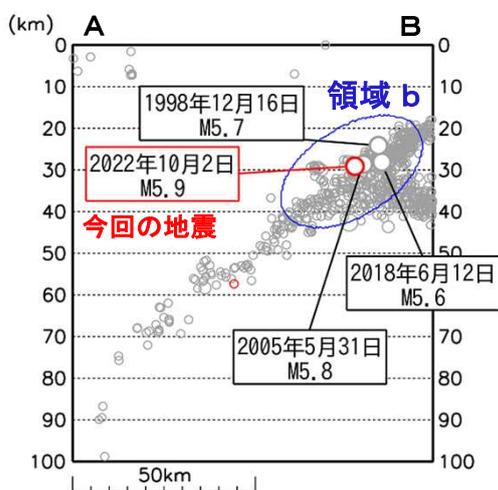


図3 図2の領域a内のA-B断面図

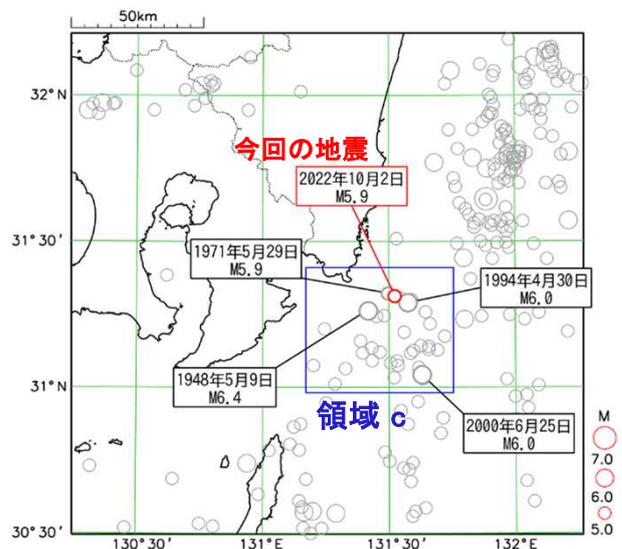


図5 震央分布図

(1919年1月1日～2022年10月6日、深さ0～100km、M≥5.0)

※2022年10月1日以降の地震を赤く表示